

2020.6.20

10:00 Open

古関裕而まちなか青春館

~多彩な素顔と当時の福島に想いをはせて~

青春館情報

開館時間 10:00~16:00 (最終入館15:30)

開館期間 2020年6月20日(土)~11月30日(月)予定

入場料 無料

所在地 福島県福島市大町9-20
NTT福島大町ビル1階
TEL.024-522-5025

所在地MAP



主催: まちなか回遊事業実行委員会

共催: 福島市、福島商工会議所、県庁通商店街振興組合

協力: 福島市史編纂室

特別協力: NTT東日本福島支店

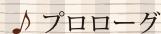
協賛企業: (株)東邦銀行、福島市観光開発(株)、一般財団法人大原記念財団、上町開発(株)、特定非営利活動法人ストリートふくしま、(株)福島まちづくりセンター

事務局: 福島商工会議所

古関裕而まちなか青春館 展示内容

当館では、古関裕而に関する貴重な資料や当時の福島の町並み、時代背景などを伝える資料、作曲された校歌などを展示しています。古関裕而の多彩な素顔と当時の福島に想いをはせながら、青春館とまちなかを散策しませんか。

■展示内容



♪ 喜多三呉服店と福島の町並み

♪ 裕而の青春、そして古関家の人々

♪ 作曲家古関裕而誕生から「露營の歌」まで

♪ ラジオ・ドラマ・映画音楽・レコード大賞特別賞

♪ 1964年のオリンピックマーチ

- ・古関裕而とスポーツ音楽
- ・古関裕而ゆかりの人々

【新型コロナウイルスの感染拡大防止にご協力ください】

○入口でサーモグラフィによる検温を実施しております。

○マスクを着用し、備え付けの消毒液を利用してからご入場ください。

○感染クラスター発生の緊急連絡に備え、お名前と連絡先を記入願います。

○密集状態を避けるため、入場を制限する場合があります。

係員の指示に従ってご入場ください。

○館内は常時換気、定期的に消毒しております。

○館内での飲食はご遠慮ください。

○その他、感染拡大防止の取り組みにご協力をお願いします。



若い頃の作曲風景

こせき ゆうじ
古関 裕而 (本名: 古関勇治)

1909年(明治42年) 8月11日～1989年(平成元年) 8月18日(満80歳)

福島市大町にあった呉服店「喜多三」の長男として生まれた裕而是、幼少期から音楽に親しみ、福島商業学校(現 県立福島商業高校)時代から独学で作曲を始めました。

福島商業を卒業した裕而是、川俣銀行に入行した後も作曲活動を続け、1929年4月(昭和4年)に英国の楽譜出版社主催の作曲コンクールに応募し、自身が作曲した「舞踊組曲 竹取物語」が二等に入選。この快挙を新聞で知った愛知県豊橋市の内山金子さんが、裕而へファンレターを送ったことがきっかけで遠距離交際が始まり、翌年結婚しました。

戦前は「露營の歌」「暁に祈る」など、戦後は「鐘の鳴る丘」「君の名は」などのラジオドラマの主題歌のほか、1964年の東京オリンピック入場行進曲「オリンピック・マーチ」や全国高等学校野球選手権大会(夏の甲子園)の歌「栄冠は君に輝く」など、スポーツ関連の音楽も数多く手掛け、生涯に作曲した数は5,000曲を超えると言われています。

■主な作品 「六甲おろし」(昭和11年)、「闘魂こめて」(昭和38年)
「とんがり帽子」(昭和22年)、「高原列車は行く」(昭和29年)
「紺碧の空」(早稲田大学応援歌)、「我ぞ覇者」(慶應義塾大学応援歌)